

平成 24 年 6 月度 第 3 次バージョンアップ項目

1. 鉄骨コマンドを開発。
2. 折半受けの配置位置を変更。
3. 寄棟システムの母屋システムの 45 度以外の物件対応。
4. 火打ち梁のリブのパターンの追加。
5. 梁の単品加工図の表記を勾配表記を追加。また通り芯、柱、仕口等も表記可能に。
6. 梁の修正画面にキープラン窓を追加。
7. 梁部材入力でコピーの貼り付け機能を追加。
8. ベースパターンに新しくクリア-ベースを追加。
9. 平面ブレスの 4 面亀の甲と小梁が下がった場合のガセット緩衝の表記。
10. 大梁の入力時に上下のフランジが柱の R に当たる場合自動処理で逃げる処理を開発。
11. 仕口のタイコリストに A4 に 1 コア表記を開発、追加。
12. 柱単品図において、断面の重なるケースを改善。
13. 階高入力画面で階高合計を表記するようにしました。
14. 保守契約専用のバージョンアップコマンドを物件設定の画面に追加。
15. 部材マスター選択画面の柱の **R** 表記を削除しました。
16. サーバー等に登録できるシステムになりました。
17. 梁配置の画面に通り追加コマンドを追加しました。
18. H 柱の勾配ポイントを柱面と柱芯の **2** パターンの選択を可能に改善。
19. 平面ブレスの柱芯対応の形状が可能になりました。
20. 耐震ブレスに対応。 角パイプ、丸パイプの差込プレート、CT ジョイントに対応。
21. 軸ブレスの一体型ブレスの形状を小さくするように修正。
22. 梁単品図、及び梁詳細図にブレスガセットを表記しました。

1. 鉄骨コマンド機能（ガセット型板エディット）

- ガセット形状をエディットする機能です 梁配置の中に**[鉄骨コマンド]**ボタンを追加しました ボタンを押すと、汎用コマンドメニューに入ります
（※形状変更は、ガセット合番を振った後しか出来ません）
エディットしたガセットは、柱・梁の詳細図と単品図の板表示 ガセット型紙出力に対応します



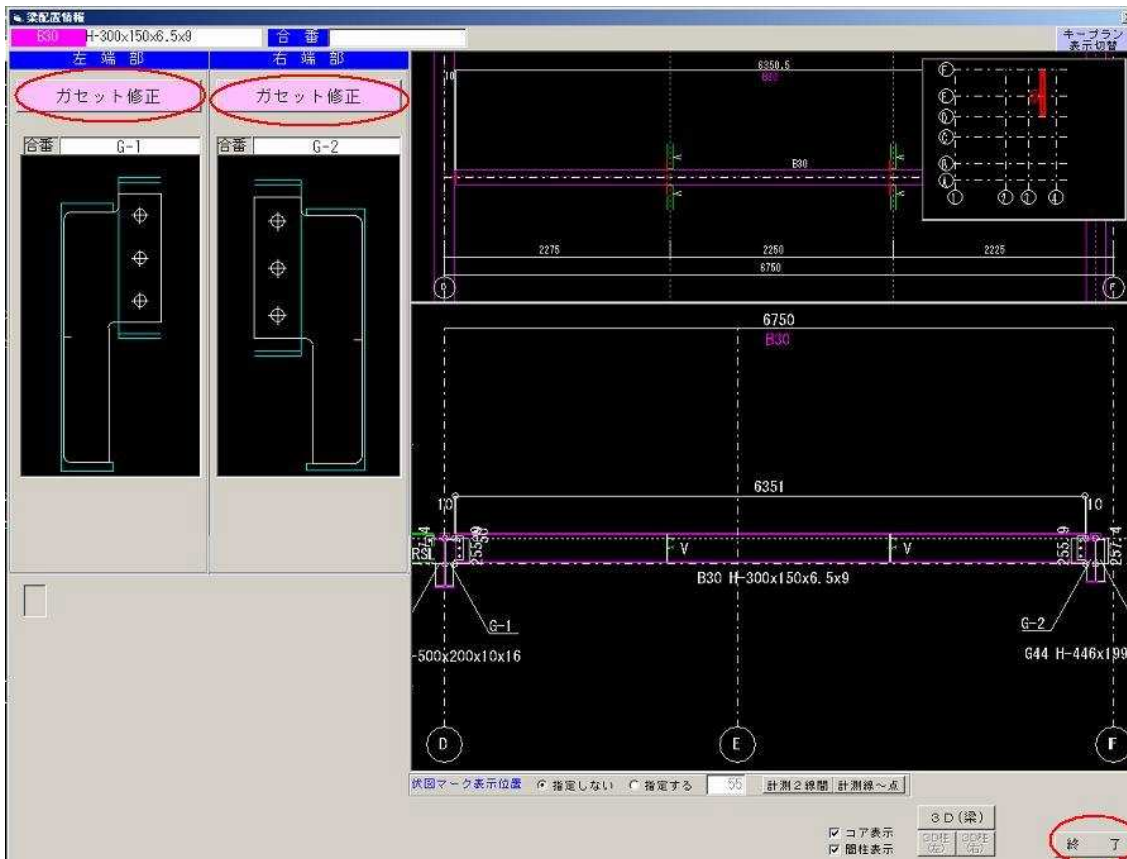
[型板エディット]

- ガセット修正したい梁を、伏図から選択します(ガセットが付かない剛接等は選べません)
（※ まだガセット合番を振っていない場合、あるいは合番を振った後、梁・柱に変更があった場合、ガセット読み込みするか否かの選択が表示されます）

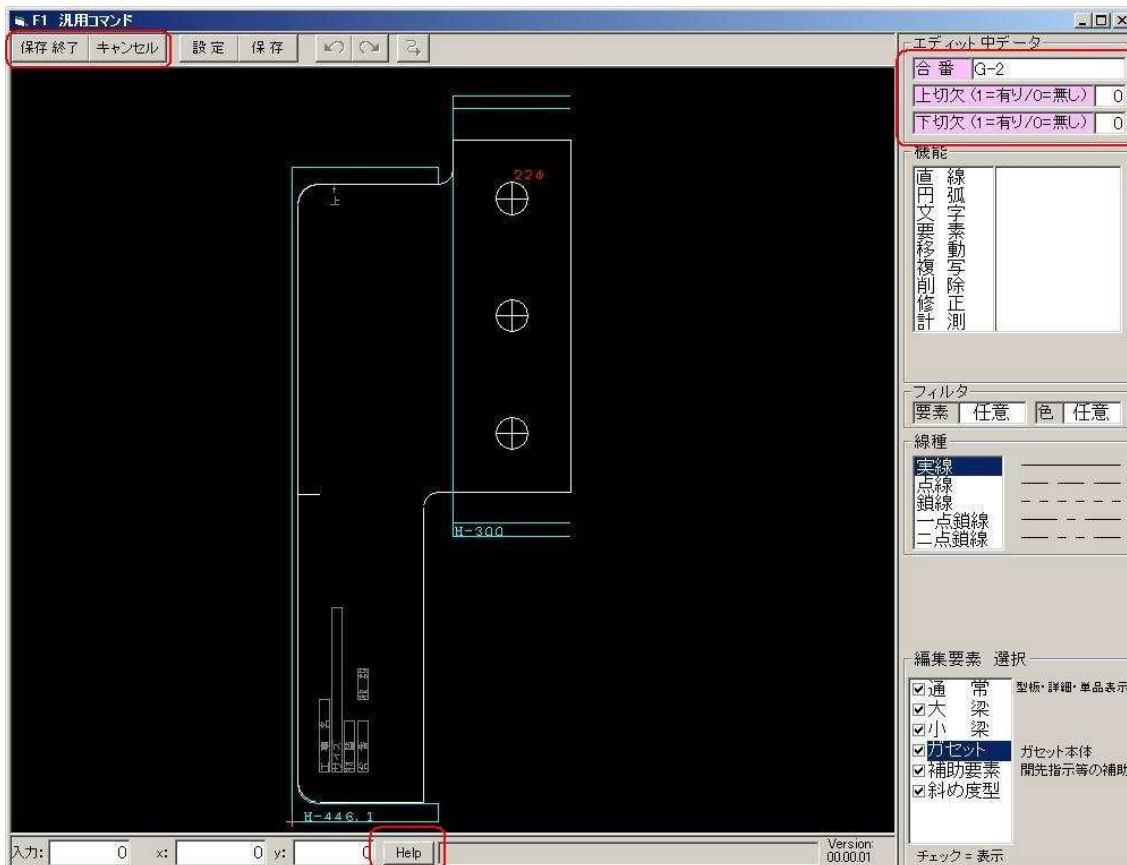


伏図から梁を選ぶと画面が切り替わります

修正したいガセット側の**[ガセット修正]**ボタンを押して下さい 汎用コマンドが起動します
修正が終了したら、**[終了]**ボタンで元の画面に戻ります



鉄骨コマンド画面



- ・ 合番、上下の切り欠きの設定もここで行えます
(※ ガセット図だけを修正しても、施工図で切り欠きの判断は出来ません)
- ・ エディットを終了し、施工図に反映させたい場合は、**[保存 終了]**ボタンを
エディット内容を破棄したい場合は、**[キャンセル]**ボタンで元に戻ります
- ・ 汎用コマンドの操作方法は**[Help]**ボタンで確認出来ます

[型紙一覧 確認]

The screenshot shows the 'F11 Edit' software interface. The main window displays a table of mold specifications with columns for No., Edit, タイプ (Type), 合番 (Code), 台数 (Quantity), 梁サイズ (Beam Size), 小梁サイズ (Sub-beam Size), 切欠 (Notch), and 厚 (Thickness). A red box highlights the 'Edit' and 'Edit解除' buttons in the top-left corner. A yellow circle highlights the 'G-7' row in the table. On the right side, there is a '型板 エディット' (Mold Edit) panel with a '型紙一覧 確認' (Type Paper List Confirmation) button. Below this panel is a '使用箇所 一覧' (Usage Locations List) table.

No.	Edit	タイプ	合番	台数	梁サイズ	小梁サイズ	切欠	厚
10		ガセット	C-14	1	柱	H-198.99×45×7	無し	6
11		ガセット	C-15	1	柱	H-198.99×45×7	無し	6
12		ガセット	C-16	2	柱	H-300×150×6.5×9	無し	9
13		ガセット	C-17	2	柱	H-198.99×45×7	無し	6
14		ガセット	C-18	2	柱	H-198.99×45×7	無し	6
15		ガセット	C-19	3	柱	H-198.99×45×7	無し	6
16		柱付き	C-20	1		H-500×200×10×16	無し	12
17		柱付き	C-21	1		H-500×200×10×16	無し	12
18		柱付き	C-22	2		H-446×199×8×12	無し	12
19		柱付き	C-23	2		H-446×199×8×12	無し	12
20		ガセット	G-1	12	H-500×200×10×16	H-300×150×6.5×9	無し	9
21		ガセット	G-2	12	H-446×199×8×12	H-300×150×6.5×9	無し	9
22		ガセット	G-3	1	H-446×199×8×12	H-198.99×45×7	無し	6
23		ガセット	G-4	1	H-446×199×8×12	H-198.99×45×7	無し	6
24		ガセット	G-5	6	H-300×150×6.5×9	C-100.50×20×3.2	下	6
25		ガセット	G-6	6	H-300×150×6.5×9	C-100.50×20×3.2	下	6
26		ガセット	G-7	2	H-198.99×45×7	H-198.99×45×7	無し	6
27		ガセット	G-8	1	H-198.99×45×7	H-150×75×5×7	下	6
28		ガセット	G-9	2	H-198.99×45×7	C-100.50×20×3.2	下	6
29		ガセット	G-10	2	H-198.99×45×7	C-100.50×20×3.2	下	6
30		ガセット	G-11	1	H-194×150×6×9	H-198.99×45×7	無し	6
31		ガセット	B-1	24	H-300×150×6.5×9	C-100.50×20×3.2	下	6
32		ガセット	B-2	24	H-300×150×6.5×9	C-100.50×20×3.2	下	6
33		ガセット	B-3	1	H-198.99×45×7	H-150×75×5×7	下	6
34		リブ	178-6	3	柱		無し	6
35		リブ	194-6	1	H-194×150×6×9		無し	6
36		リブ	419.5-9	1	柱		無し	9
37		リブ	422.1-6	2	柱		無し	6
38		リブ	422.1-9	1	柱		無し	9
39		リブ	446-6	2	H-446×199×8×12		無し	6
40		リブ	446-9A	12	H-446×199×8×12		無し	9
41		リブ	446-9B	8	H-446×199×8×12		無し	9
42		リブ	B198-6	1	H-198.99×45×7		無し	6
43		リブ	G198-6	5	H-198.99×45×7		無し	6
44		リブ	G300-6	4	H-300×150×6.5×9		無し	6
45		垂直リブ	タテ-1	12	H-194×150×6×9		無し	12
46		垂直リブ	タテ-2	8	H-446×199×8×12		無し	16
47		垂直リブ	タテ-3	4	H-500×200×10×16		無し	16

使用箇所 一覧

No.	型/リブ	部材/合番	層数
1	梁	B19	2
	RSL	RB19-1	
2	梁	B19	1
	RSL	RB19-1	

エディットメニューの[型紙一覧 確認]を押すと、物件で使用する型紙の一覧が表示されます

一覧から型板を選択し[エディット]ボタンを押すと、エディット画面に移ります

エディットを解除したい場合は、解除したいガセットを選択し、[エディット解除]ボタンを押して下さい

- ・尚、既に修正済みの型板を選んだ場合、下記のメニューが表示されます

The '汎用コマンド' dialog box shows the following options for mold G-2:

- 再編集** (Re-edit): 前回の修正状態から、再編集 (Re-edit from the previous correction state)
- 修正 解除** (Cancel correction): この型板は通常表示にする (Set this mold to normal display)
- 修正 初期化** (Initialize correction): 型板形状を初期化して、再エディット (Initialize mold shape and re-edit)
- 戻る** (Back)

[再編集] 前回修正した状態からエディットをする

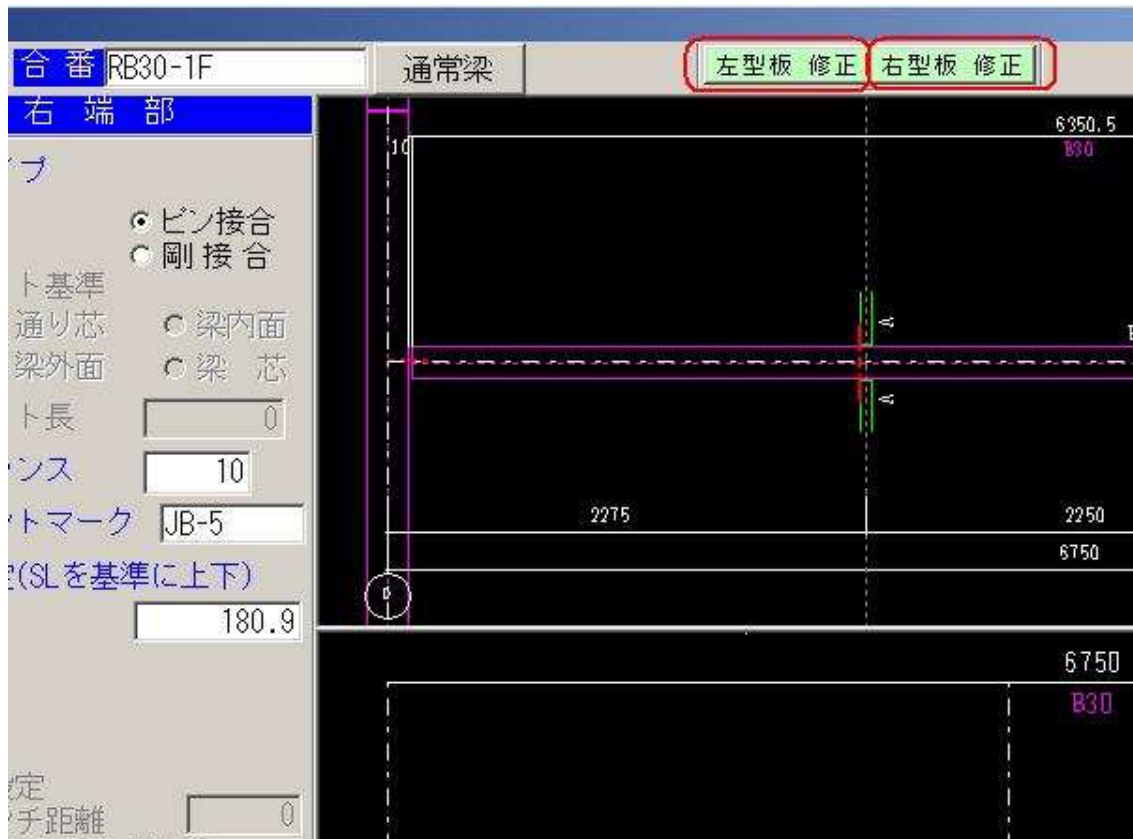
[修正 解除] ガセットのエディットを解除し、通常状態で作画させます

[修正 初期化] 前回修正した内容を破棄し、新たにエディットを開始します

[戻る] 修正をせず戻る

※ ガセットの鉄骨コマンド 注意点

- ・ ガセットの汎用修正は、型板合番ごとになります
同じ合番のガセットを使用している梁、全てが変更されます
- ・ 梁、柱等の変更により、使用するガセット合番が変更された場合。修正状況もキャンセルされます
(新規ガセットになった場合、修正されていない新規状態に
他の梁等で使用しているガセットになった場合、そちらの修正状態に準じます)
- ・ ガセット合番を振った後なら、梁修正画面でも汎用修正が可能です



※ガセット合番が決まる前は、選択出来ないようになっています

- ・ [原寸型紙設定]の[型紙確認]内でも汎用コマンドは可能です

No	Edin	タイプ	合番	台数	受梁サイズ	小梁サイズ	高さ	切欠	斜切	スラップ	Skサイズ	厚
1		ガセット	C-1	1	柱	H-300x150x6.5x9	62.3	無し	無し	C取り		14 9
2		ガセット	C-4	1	柱	H-198x99x4.5x7	62.8	無し	無し	C取り		14 6
3		ガセット	C-5	1	柱	H-300x150x6.5x9	58.9	無し	無し	C取り		14 9
4		ガセット	C-8	1	柱	H-198x99x4.5x7	59.4	無し	無し	C取り		14 6
5		ガセット	C-9	2	柱	H-300x150x6.5x9	64.7	無し	無し	C取り		14 9
6		ガセット	C-10	1	柱	H-300x150x6.5x9	58.9	無し	無し	C取り		14 9
7		ガセット	C-11	1	柱	H-300x150x6.5x9	62	無し	無し	C取り		14 9
8		ガセット	C-12	1	柱	H-198x99x4.5x7	12	無し	無し	C取り		14 6
9		ガセット	C-13	1	柱	H-198x99x4.5x7	59.4	無し	無し	C取り		14 6
10		ガセット	C-14	1	柱	H-198x99x4.5x7	62.5	無し	無し	C取り		14 6
11		ガセット	C-15	1	柱	H-198x99x4.5x7	132.8	無し	無し	C取り		14 6
12		ガセット	C-16	2	柱	H-300x150x6.5x9	60.7	無し	無し	C取り		14 9
13		ガセット	C-17	2	柱	H-198x99x4.5x7	6	無し	無し	C取り		9 6
14		ガセット	C-18	2	柱	H-198x99x4.5x7	6	無し	無し	C取り		9 6
15		ガセット	C-19	3	柱	H-198x99x4.5x7	9	無し	無し	C取り		9 6
16		柱付き	C-20	1		H-500x200x10x16	0	無し	無し			0 12
17		柱付き	C-21	1		H-500x200x10x16	0	無し	無し			0 12
18		柱付き	C-22	2		H-446x199x8x12	0	無し	無し			0 12
19		柱付き	C-23	2		H-446x199x8x12	0	無し	無し			0 12
20		ガセット	G-1	12	H-500x200x10x16	H-300x150x6.5x9	48.5	無し	無し	R取り		14 9
21	○	ガセット	G-2	12	H-446x199x8x12	H-300x150x6.5x9	48.5	無し	無し	R取り		14 9
22		ガセット	G-3	1	H-446x199x8x12	H-198x99x4.5x7	251.1	無し	無し	R取り		14 6
23		ガセット	G-4	1	H-446x199x8x12	H-198x99x4.5x7	213.7	無し	無し	R取り		14 6
24		ガセット	G-5	6	H-300x150x6.5x9	C-100x50x20x3.2	-50	下	無し	R取り		14 6
25		ガセット	G-6	6	H-300x150x6.5x9	C-100x50x20x3.2	-46.9	下	無し	R取り		14 6
26		ガセット	G-7	2	H-198x99x4.5x7	H-198x99x4.5x7	0	無し	無し	R取り		9 6
27		ガセット	G-8	1	H-198x99x4.5x7	H-150x75x5x7	0	下	無し	R取り		9 6
28		ガセット	G-9	2	H-198x99x4.5x7	C-100x50x20x3.2	-50	下	無し	R取り		9 6
29		ガセット	G-10	2	H-198x99x4.5x7	C-100x50x20x3.2	-47.9	下	無し	R取り		9 6
30		ガセット	G-11	1	H-194x150x6x9	H-198x99x4.5x7	0	無し	無し	R取り		9 6

2. 嵩上げ材・折板受けのズレ対応

・ 嵩上げ

嵩上げの個別入力時、修正時に**[芯ズレ]**の項目を追加しました

梁芯を基準に、案内図に沿った数値を入力して下さい（初期値は0=梁芯です）

梁芯からのズレ (0で梁芯配置)

個別値配置

梁芯からのズレ距離を
入力して下さい
(左=- , 右=+)

部材 H-100x50x5x7x8

材質 SS400

始点距離

終点距離

芯ズレ

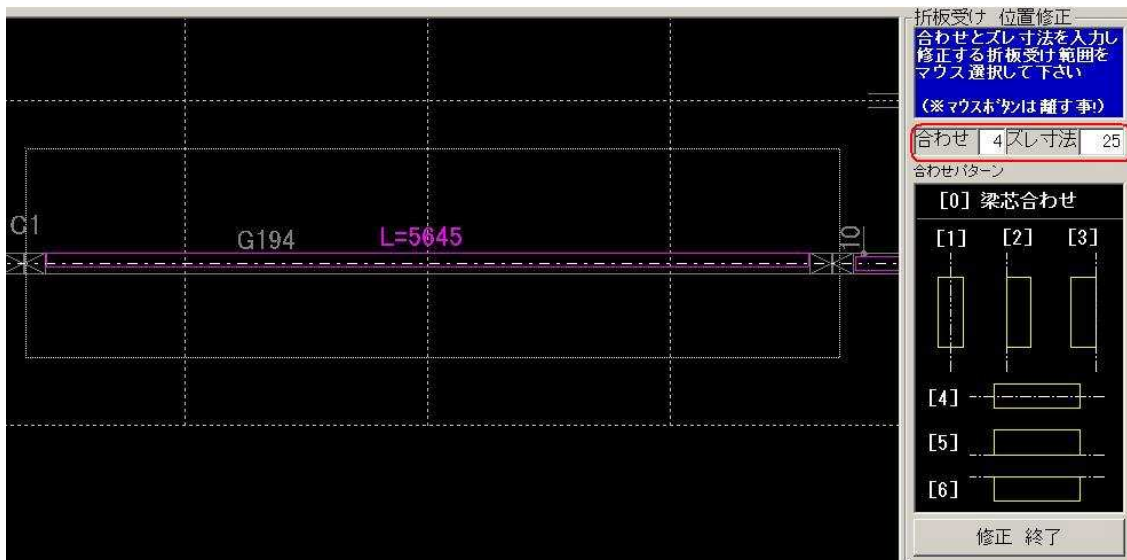
再計算 Enter

切れ位置

No. 切り位置 切り寸

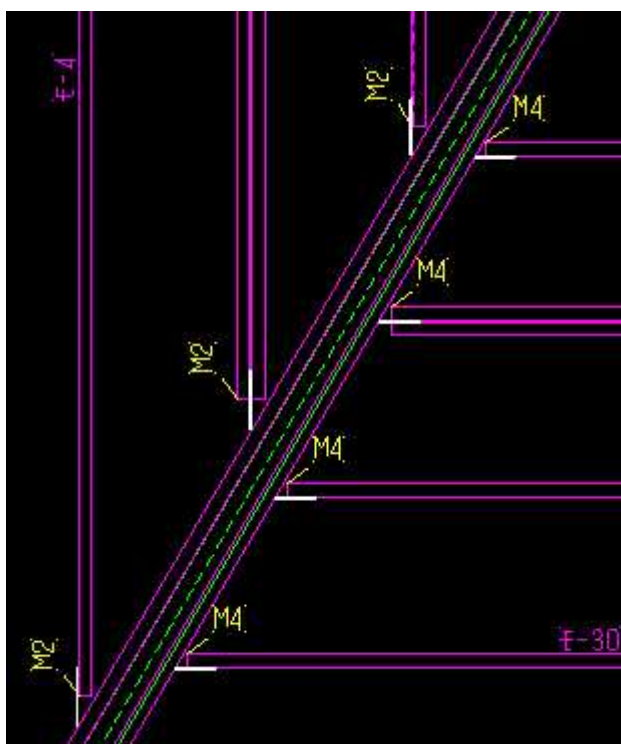
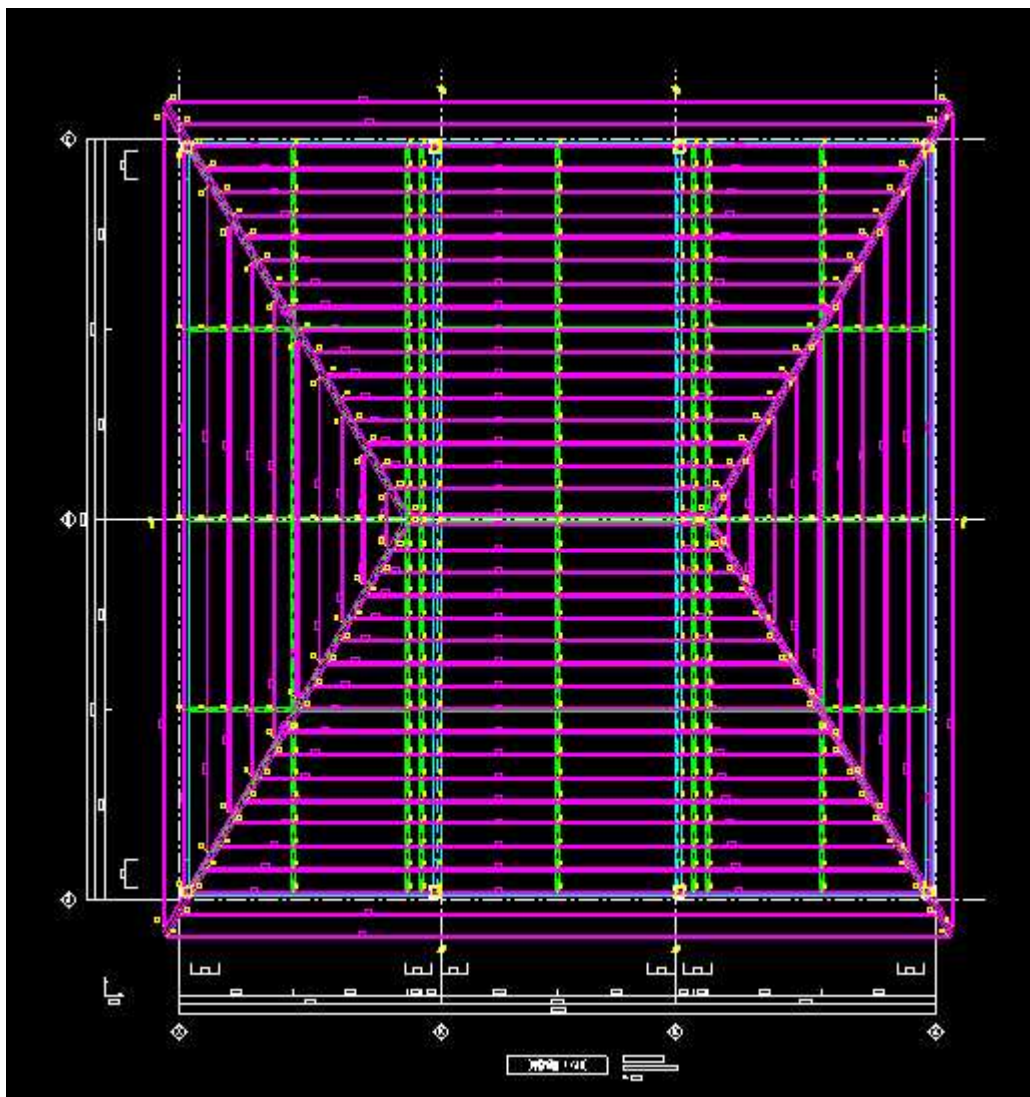
折板受け

折板受けのメニューに[折板受け 位置変更]ボタンを追加しました



- 1・ **合わせ**に、合わせたい番号を入れます(梁が配置してある通りが基準になります)
- 2・ 上記で選択した通りをポイントを基準に、ズレ寸法を入力します
- 3・ 伏図上で、ズレを移動させたい折板受けを範囲選択します
(始点決定後、マウスボタンは離すこと ボタンを押しっぱなしにすると画面拡大になります)

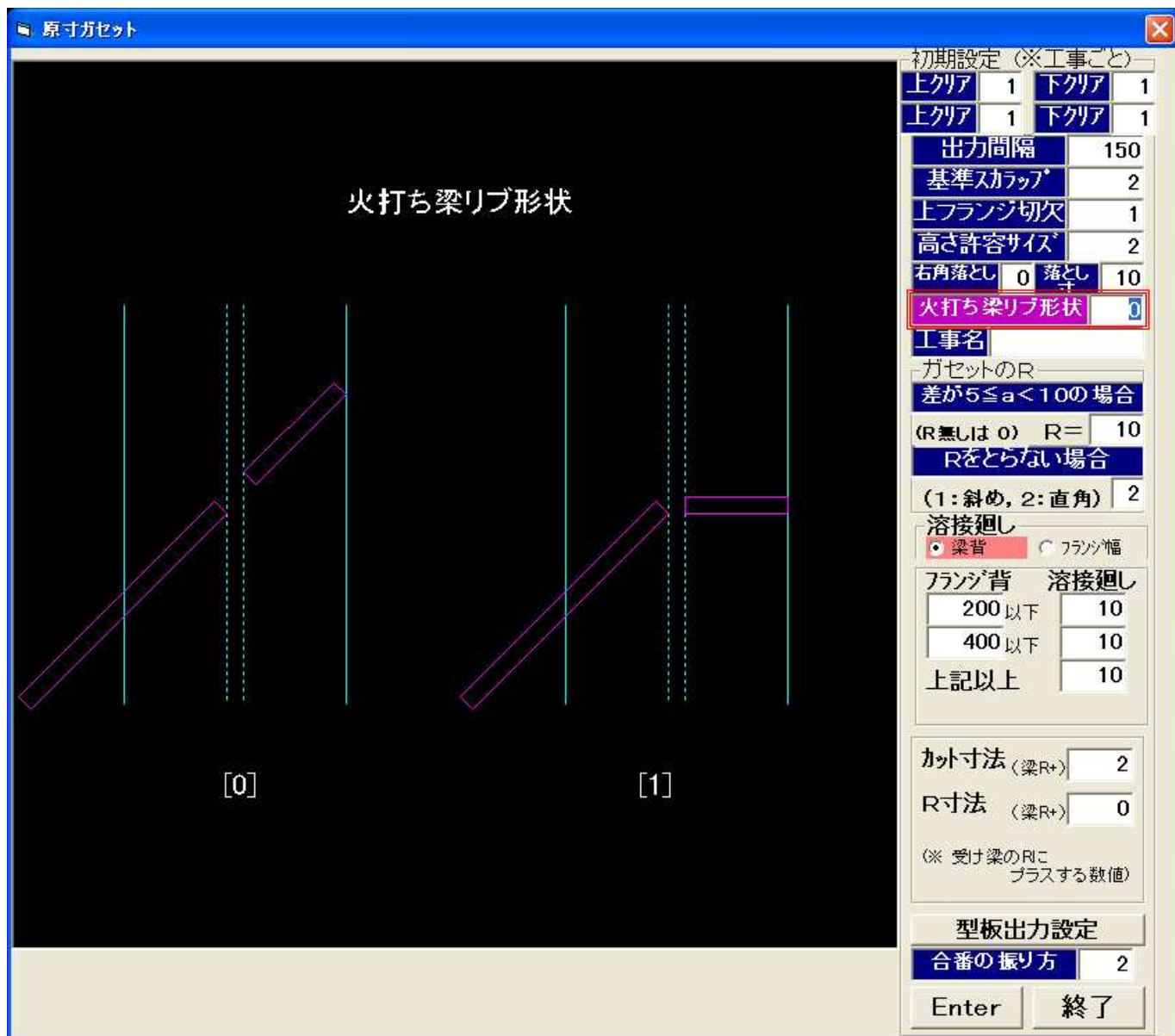
3. 寄棟 45度以外の寄棟に対応



4. 火打ち梁リブ形状選択追加

[基本データ]-[基準設定]-[ガセット初期設定]

火打ち梁リブ形状の設定を追加しました



5. 梁单品図 勾配出力追加

[詳細図]－[梁詳細図]－[单品加工図作成]－[設定]

勾配梁出力の選択を追加しました

文字サイズの設定を追加しました

勾配で出力

通り芯、柱、ブラケット出力選択と色設定を追加しました。



单品加工図設定

設定 1 | 設定 2 | 設定 3

单品加工図設定 1

小梁追寸方向 <input type="radio"/> ←方向 <input checked="" type="radio"/> 方向→	追寸法タイプ <input type="radio"/> 横書き <input checked="" type="radio"/> 縦書き	Enter
小梁ピッチ寸法出力 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	断面図タイプ <input checked="" type="radio"/> 通常 <input type="radio"/> 梁詳細	
ガセット板厚表示 <input checked="" type="radio"/> 原寸表示 <input type="radio"/> 拡大表示	断面図位置 <input checked="" type="radio"/> 右側 <input type="radio"/> 下側	
勾配梁出力 <input type="radio"/> 勾配なしで出力 <input checked="" type="radio"/> 勾配で出力		
折板受け追寸出力 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	通り方向 <input checked="" type="radio"/> ← <input type="radio"/> →	
吊りピース出力 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	吊りピース位置 <input type="text" value="1000"/> mm	
プレス角度表示 <input type="radio"/> 有 <input checked="" type="radio"/> 無	プレス寸法タイプ <input checked="" type="radio"/> 追寸 <input type="radio"/> ガセット面からの寸法	
日付 平成 <input type="text" value="24"/> 年 <input type="text" value="5"/> 月 <input type="text" value="19"/> 日		
担当 <input type="text"/>	工事略称 <input type="text"/>	
図面数 横 <input type="text" value="1"/> 枚 縦 <input type="text" value="1"/> 枚	文字サイズ <input type="text" value="3"/> mm	

OK
キャンセル

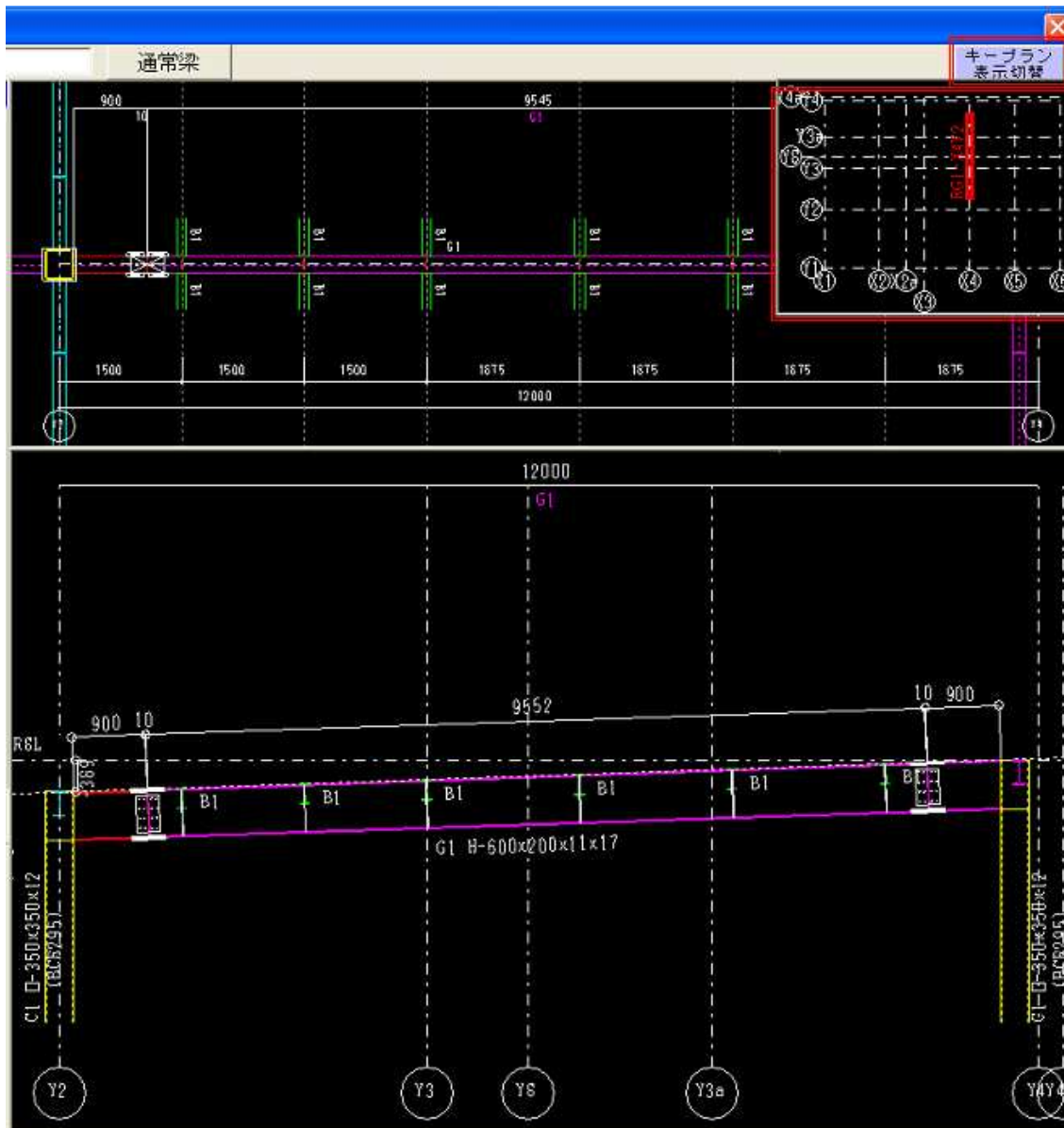
6. 梁の修正 キープラン表示追加

[伏図]－[梁配置]－[梁の修正]

キープラン表示機能を追加しました

キープラン表示切替ボタンで ON,OFF できます

キープランをドラックすることで、好きな位置に移動できます



7. 梁部材入力 右クリックでコピー、貼り付け機能の追加

[基本データ]-[梁部材入力]

コピー元の部材で右クリックして、コピーをクリックします

コピー先の部材で右クリックして、貼り付けをクリックします

梁部材入力

梁タイプ

- 大梁
- 小梁
- キャンティ梁
- 2次部材

梁部材

符号	部材	R	規格
G3	中央部	H-450x200x9x14	13 SN400B
	端部左	H-450x200x9x14	13 SN400B
	端部右	H-450x200x9x14	13 SN400B

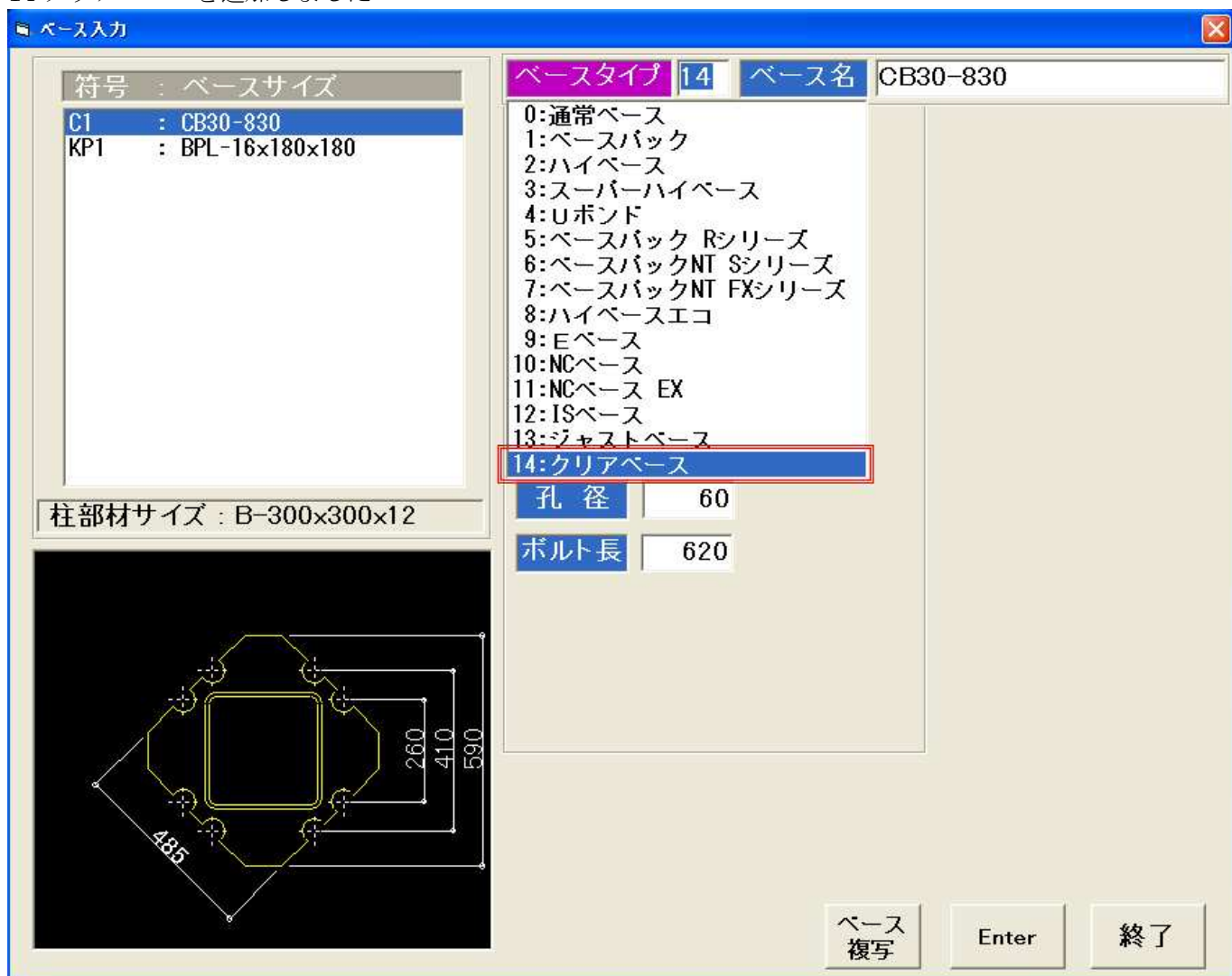
機能

[ESC]終了 [*]新規 [-]削除 [+]複写 [/]マスタ ジョイント訂正

8. クリアベース対応

[アンカープラン]–[ベース作成]

14:クリアベースを追加しました

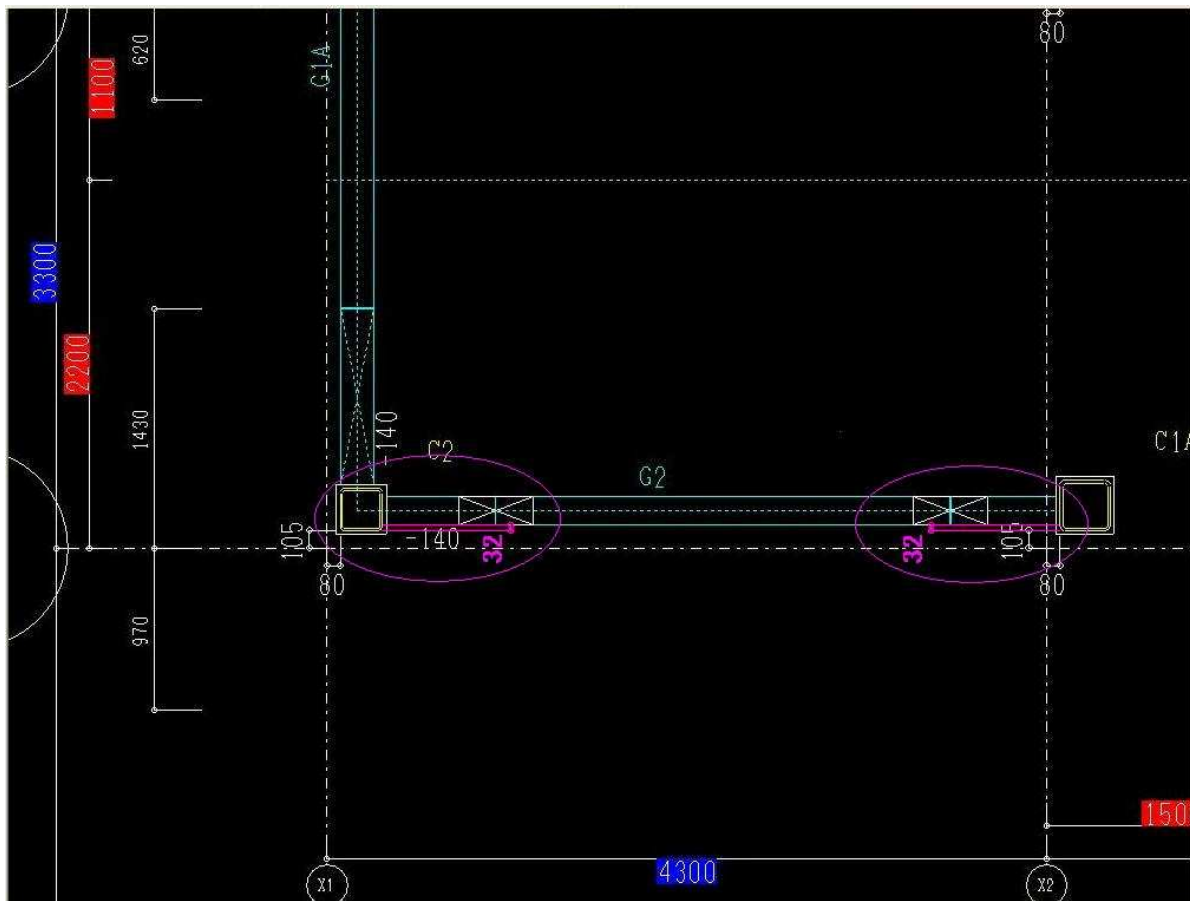


9. H型鋼ベースパック H9030 追加

H型鋼ベースパック H9030-28F2 をマスター追加しました

10. 梁配置 R逃げの自動対応

梁を配置した時にコラム柱のRを自動的に逃げるようにしました。



逃げは、R端からの距離を入力してください

11. タイコリスト出力パターンの追加

タイコリスト出力パターンに[A4紙に1コア]と[A3紙に2コア]のパターンを追加しました。
(通り名で合番をつけた時のみ有効です)



デフォルトはA4用紙1コア出力になります。

12. 柱単品図修正

断面位置の重なり等が修正しました。

13. 階高合計表示

階高入力で階高合計を表示しました。

No:	階名称	階高	鉄骨天	キャンティ梁天	小梁高 (鉄骨天基準)	柱ジョイント高
1	GL					0
2	2FL	4100	-140	0	0	0
3	屋根伏図	1400	0	0	0	0
4	RFL	2000	-140	0	0	0
5	PHRFL	3000	-140	0	0	0
階高合計:		10500				

14. 保守契約ダウンロードページへのリンク

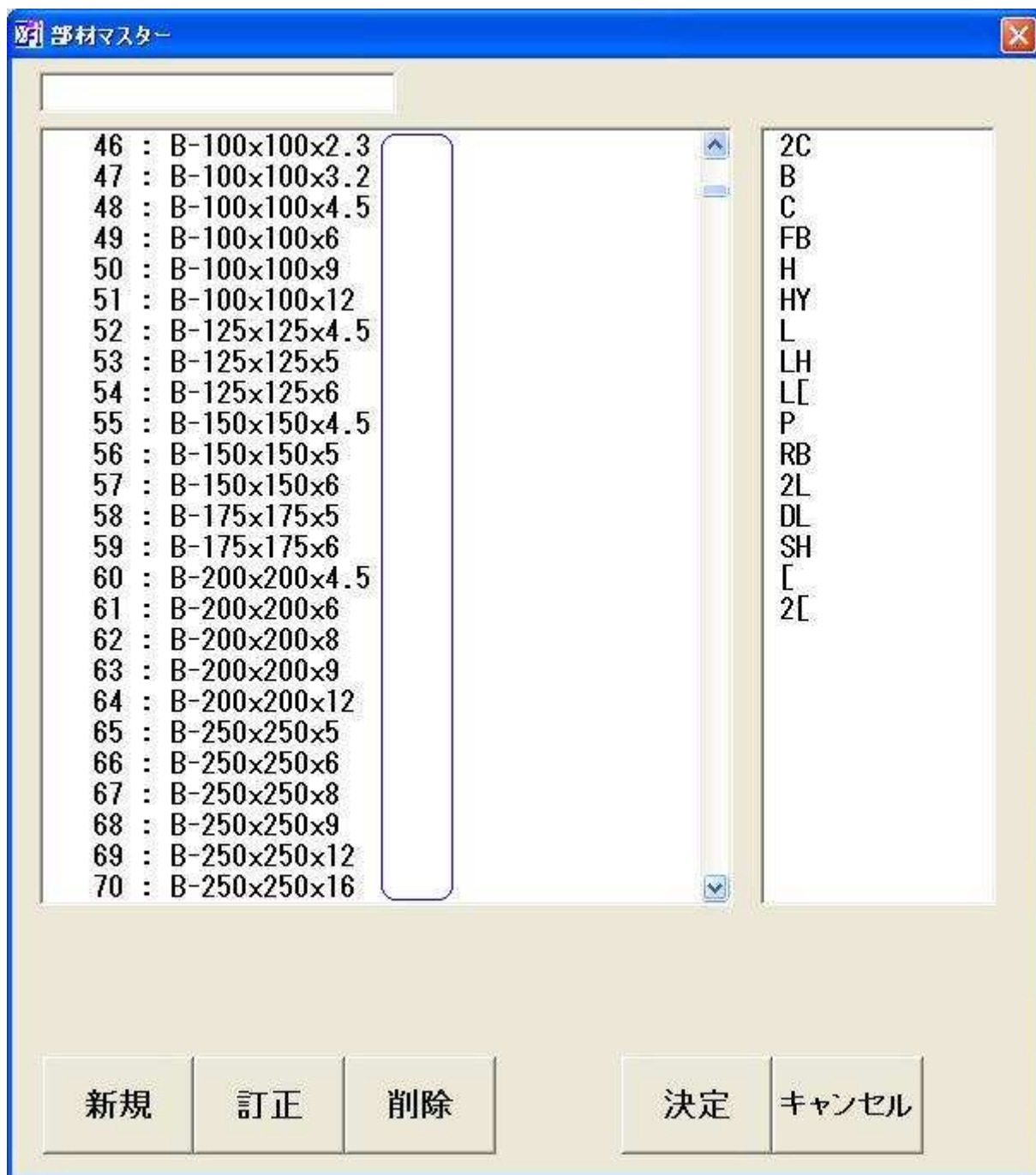
保守契約ダウンロードのホームページへのリンクに対応しました。

No.	工事名	年月日
1 :		
2 :		
3 :		
4 :		
5 :		
6 :		
7 :		
8 :		
9 :		
10 :		
11 :		
12 :		
13 :		
14 :		
15 :		
16 :		
17 :		
18 :		
19 :		
20 :		

[初期設定] - [工事設定] より [保守契約ダウンロード] ボタンをクリックしてください。

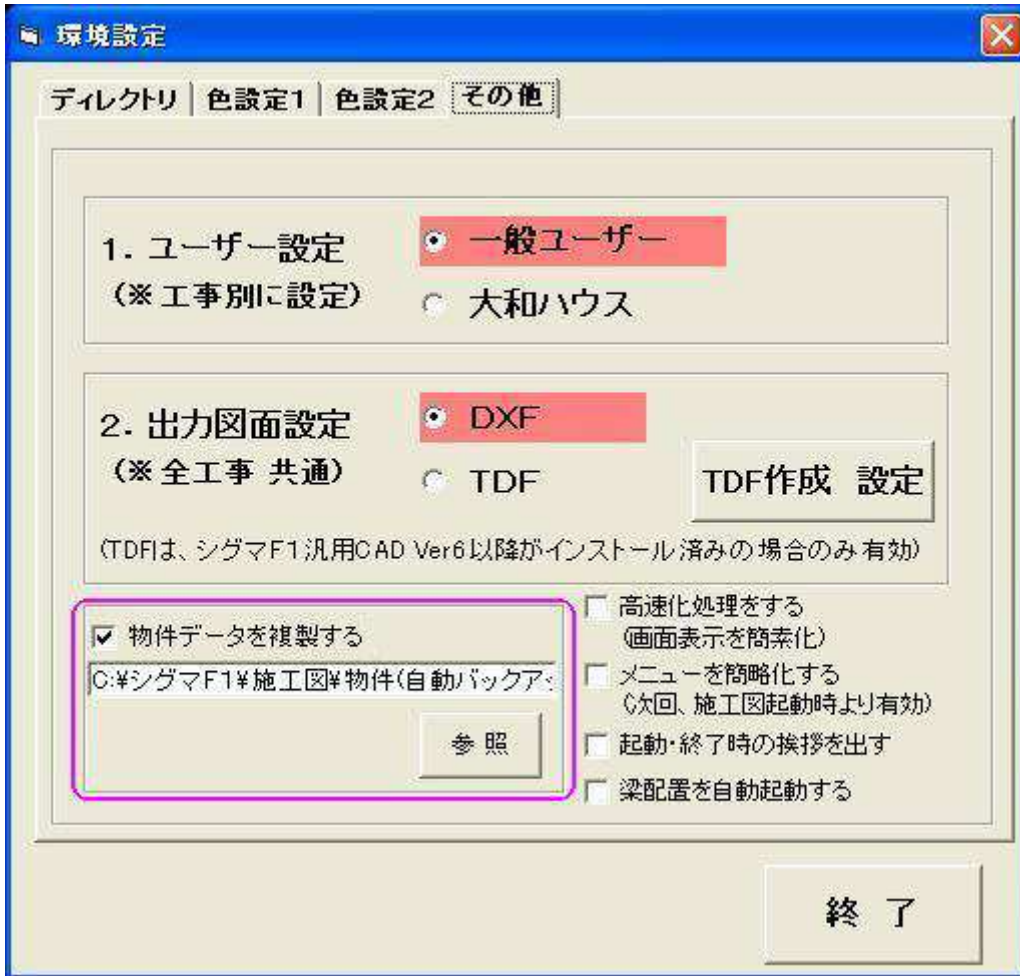
15. 部材マスター表記変更

部材マスターにてコラムのRを表示しないようにしました。

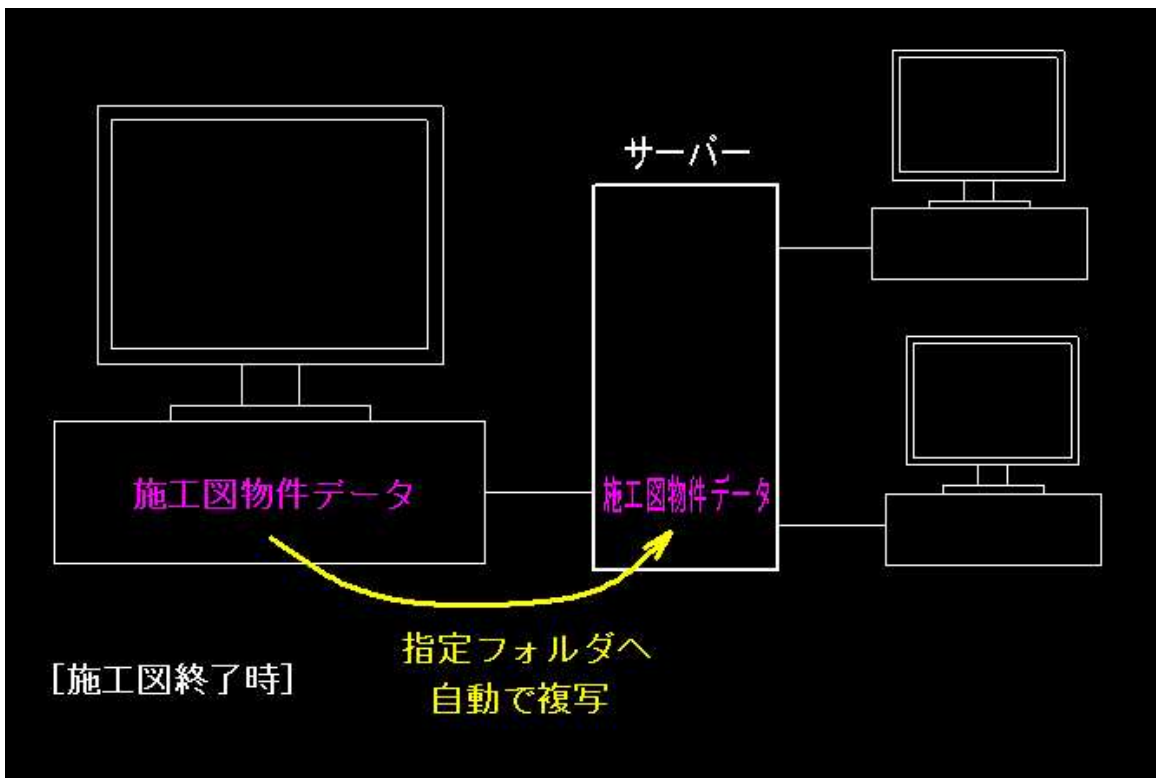


16. 物件データ複製機能の追加

施工図終了時、サーバー等に物件データの複製を行えるようにしました。



複製をする場合は、項目にチェックを入れ、複製先フォルダを指定してください。
物件データの複製は、施工図終了時または工事変更時に行われます。



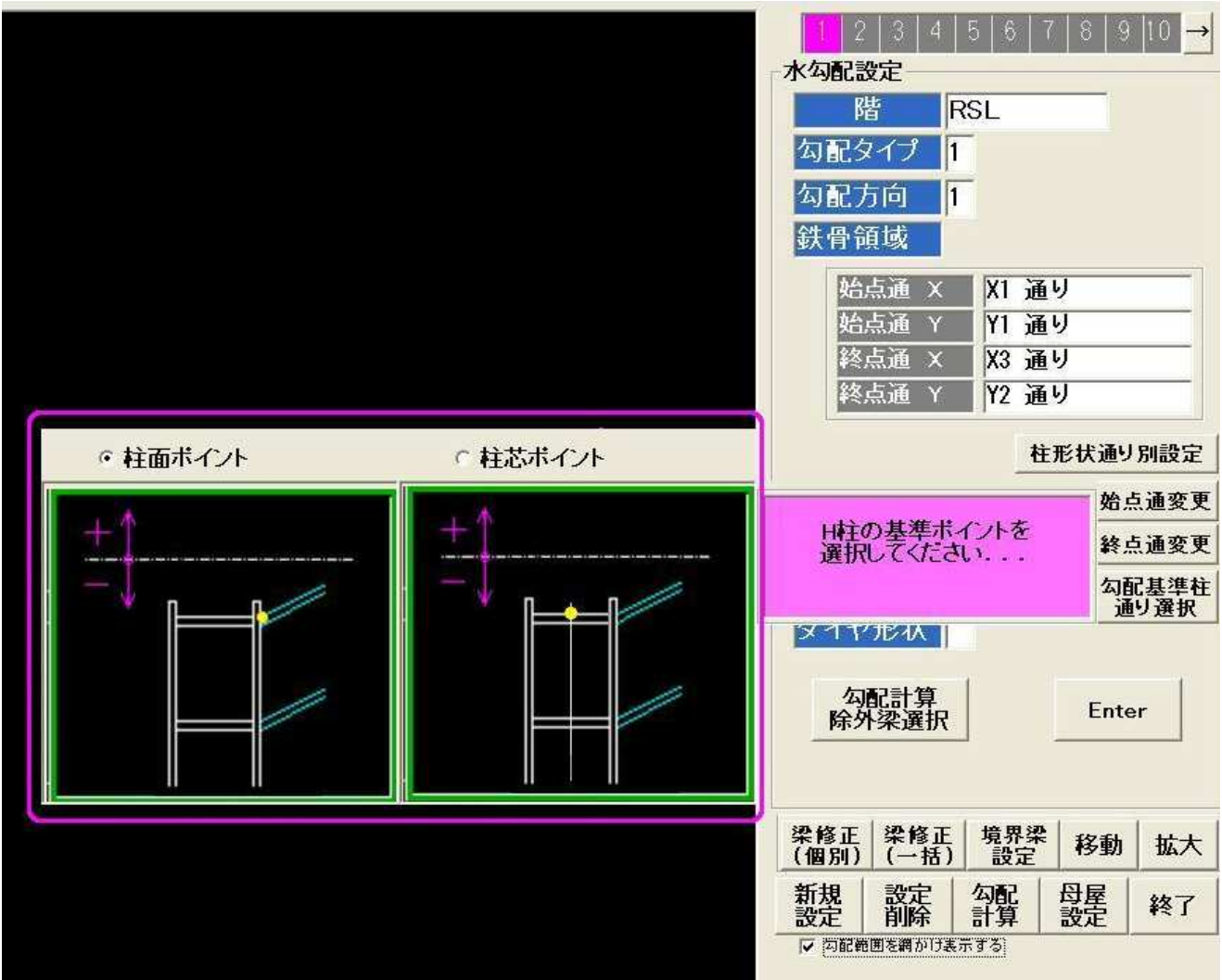
17. 梁配置画面へ"直交通り追加"ボタンが追加

梁配置画面へ"直交通り追加"ボタンを追加しました。



18. 水勾配、合掌設定の H 柱の基準ポイント追加

水勾配、合掌設定の H 柱の基準ポイントに柱面を追加しました



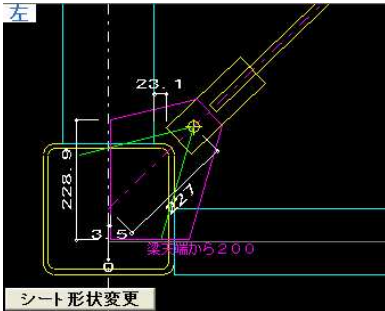
<柱芯>か<柱面>をマウスで選択してください。

19. 平面プレスのシート形状を追加しました

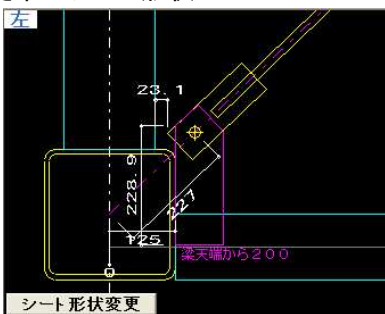
コラム柱でポイントが柱芯の場合にシート形状を変更できるようにしました。

[シート形状変更ボタン]で切り替えします。

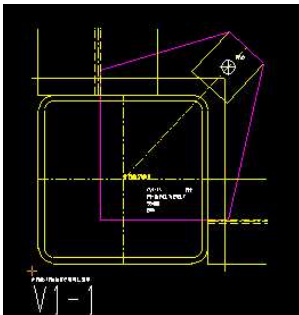
* 角度は30度、切取長は変更できません。



従来のシート形状



原寸型紙の出力(柱部分の切り欠きはしません)



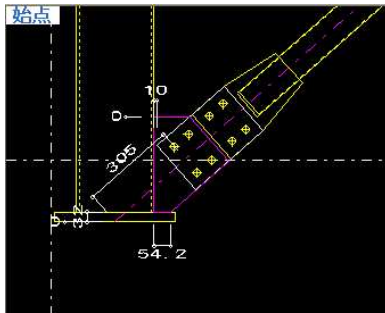
20. 耐震プレスシステム(角パイプ)を新しく開発しました

- ①プレス部材は「B」で入力して下さい。
 - ②ジョイントは差込プレートタイプとCT使用タイプの2種類です。
 - ③配置等は他の部材と同様に行います。
- ※丸パイプ・角パイプともに1面せん断は対応していません。

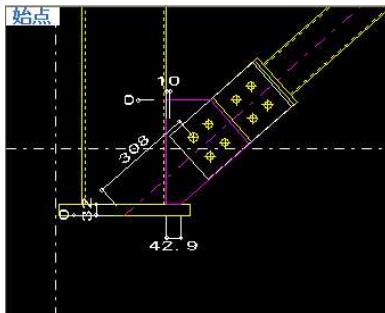
「ジョイント」-「プレスタイプ選択画面」

ジョイント符号	VJ6
新規 データ削除	
プレスタイプ	
部材	0: 丸棒プレス 1: アンガルプレス 2: 2アンガルプレス-横 3: 2アンガルプレス-縦 4: チャンネルプレス 5: 2チャンネルプレス 6: フラットバープレス 7: パイププレス(差込PL) 8: 耐震プレス 角パイプ(差込PL) 9: 耐震プレス 角パイプ(CT使用)
クリアランス	
穴数	
ボルト径	
穴径	
羽子板長	
羽子板巾	
羽子板厚	(mm)

<差込プレートタイプ>

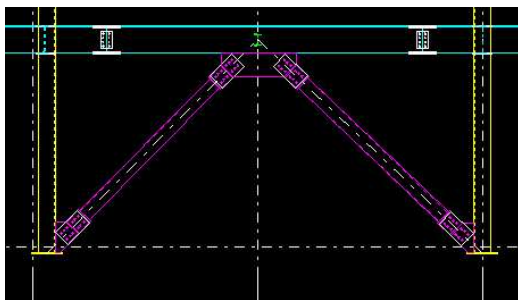
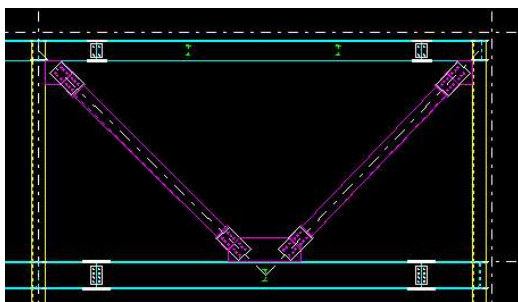


<CT使用タイプ>



<配置例>

「新規」で配置した後に、「パターン作成」で2面のガゼットを1つに結合します。

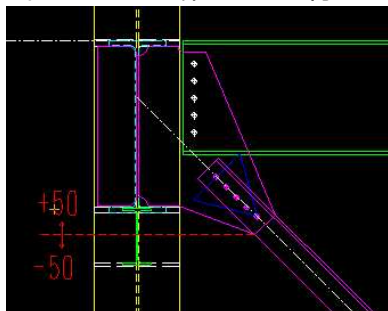


21. 軸ブレスの1体型

H柱の場合のリブの検索を修正しました。

- ・ブレスシートの下端から一番近いリブに合わせるようにしました。
(小梁天端から800ミリ以内にあるリブを検索します)

従来はシート下端から上下約50ミリの範囲のリブだけを見ていました。



22. ブレス部材入力を修正しました

- ・部材入力時に材種の一覧を表示します。
一覧の番号を入力、またはマウスクリックで選択します。



- ・部材入力表内でマウスで部材を複製できるようにしました。

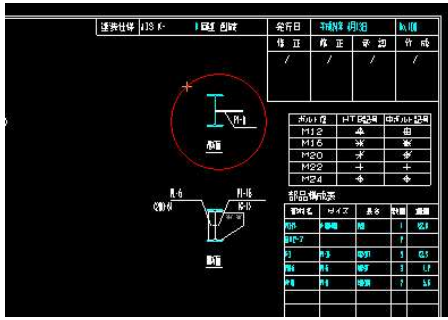
① 右マウスクリックで複製元をコピーします。

	V1	V2	
2SL	RB-16	L-65x65x6	
RSL	RB-16		コピー 貼り付け

② 右マウスクリックで複製先に貼り付けします。

	V1	V2	
2SL	RB-16	L-65x65x6	
RSL	RB-16		コピー 貼り付け

23. 梁詳細、平面ブレスの断面図を作図するようにしました



< 胴縁システム >

1. コーナーの角パイプと柱を取り合うピースを配置できるようにしました。
「ピース編集」-「手動配置」-「コーナーピース」で配置します。

胴縁編集	開口編集	ピース編集
自動配置	手動配置	個別修正
一括修正	削除	
点	範囲	
軸組	胴縁	マーク
コーナーピース	内胴縁	

基準線からの平行寸法	<input type="text" value="0"/>
ピース符号	
軸組ピース(柱)	<input type="text" value="L1"/>
胴縁ピース(角P)	<input type="text" value="P1"/>
取付位置	<input type="radio"/> 左 <input checked="" type="radio"/> 右
角P芯からピース芯	<input type="text" value="0"/>

①柱側(軸組ピース)のピース符号を入力します。

②角パイプ側(胴縁ピース)のピース符号を入力します。

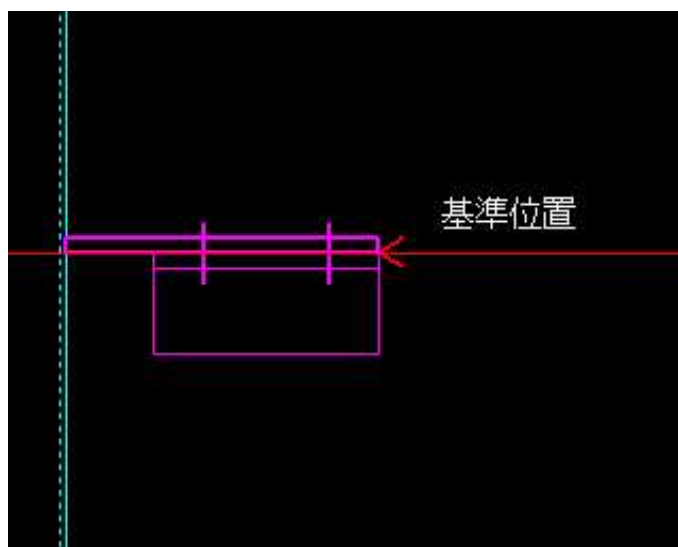
柱側のピースと孔形状(孔径・孔数・孔ピッチ)が一致したピースだけをリストに表示します。

※角パイプ側にPL固定(ピース長さが有る)のピースを使用する場合の柱側のピースの取付位置は角パイプ側のピースの長さで決まります。

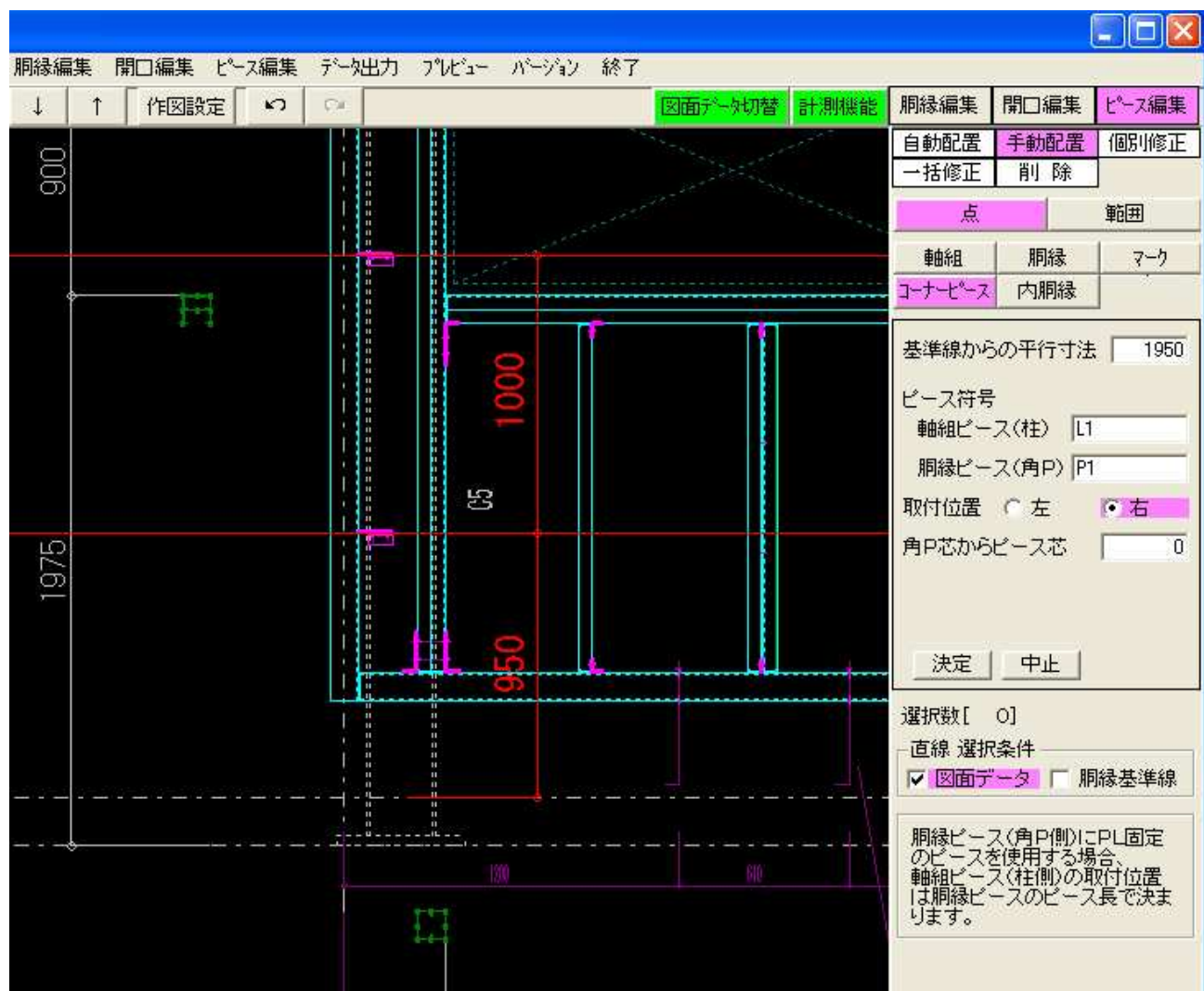
角パイプ側に穴芯固定(ピース長さが無い)のピースを使用する場合は、角パイプ芯からピース芯までの寸法を入力します。

③基準となる直線を選択し、直線からの距離を入力します。(複数選択可)

[決定]ボタンまたはEnterキーで選択を確定します。

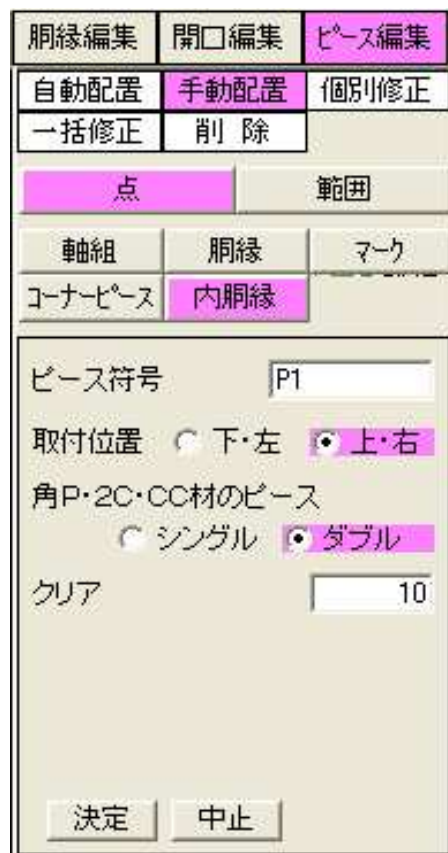


- ④ピースを配置する胴縁を選択します。コーナーピースを配置します。
連続して同じ高さで別の胴縁に配置できます。



※取付位置は配置する胴縁から見た左右です。

2. 本体(柱、梁)と取り合う胴縁ピースを配置できるようにしました。
「ピース編集」-「手動配置」-「内胴縁」で配置します。



- ①本体(柱、梁)と取り合う胴縁ピースのピース符号を入力します。
柱(梁)と胴縁のクリア寸法を入力します。(ピース配置時に胴縁のクリア寸法にセットします)
- ②柱面または梁面の直線を選択します。(複数選択可)
[決定]ボタンまたはEnterキーで選択を確定します。
- ③ピースを配置する胴縁を選択します。(複数選択可)
[決定]ボタンまたはEnterキーで選択を確定します。

※内胴縁ピース配置に使用した柱面(梁面)の直線は色を変えて表示します。
※H柱のウェブに取り付く場合等の飲み込み分は計算していません。(柱面で配置します)
※現在、施工図とは連動していません。(詳細図には作図しません)

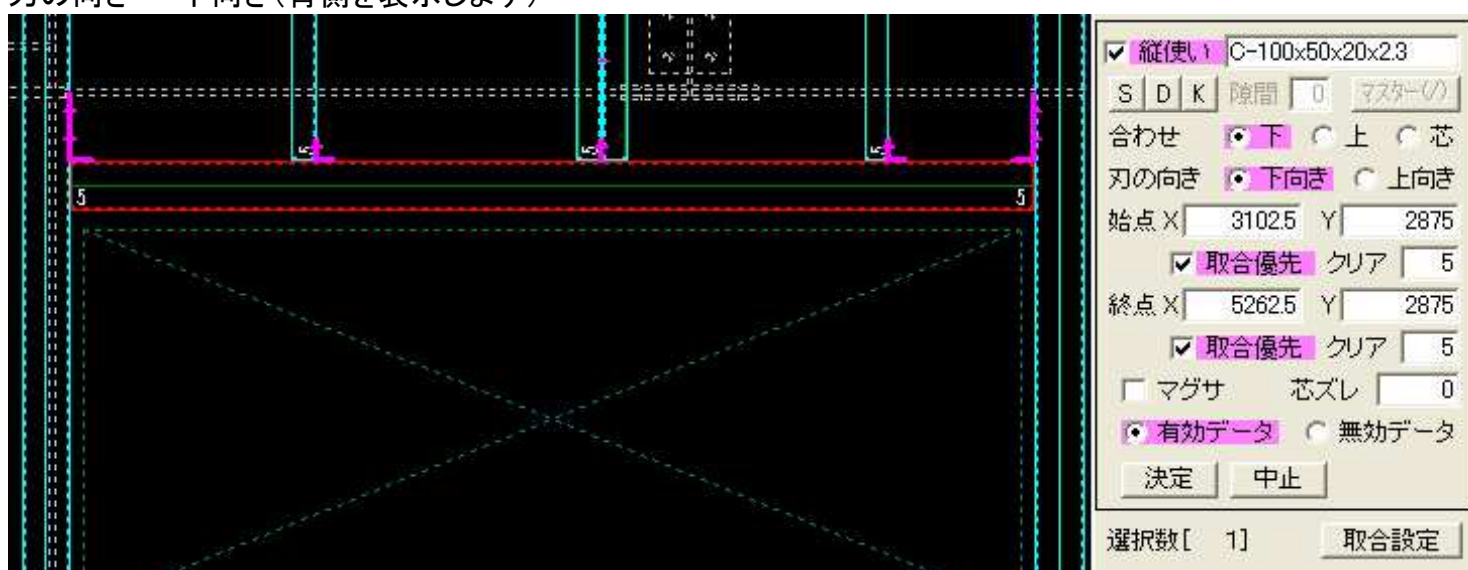
3. C材の縦使いに対応しました。

「胴縁編集」-「個別修正」で変更します。

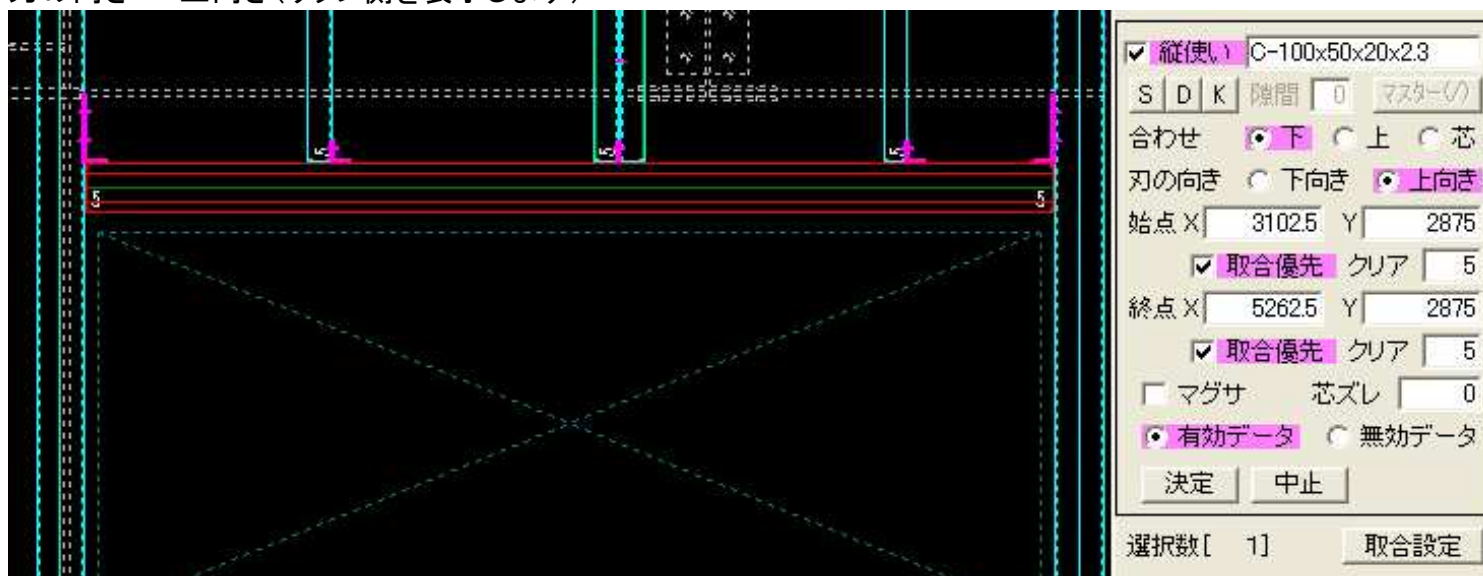
部材サイズの左にチェックボタンを追加しました。

胴縁編集	開口編集	ピース編集
新規	ピッチ割付	複写移動
個別修正	一括修正	伸縮
分割連結	削除	
抱き合わせ	工区	
点		範囲
<input type="checkbox"/> 縦使い	C-100x50x20x2.3	
S D K	隙間 <input type="text" value="0"/>	マスター <input type="text" value="0"/>
合わせ	<input checked="" type="radio"/> 下	<input type="radio"/> 上 <input type="radio"/> 芯
刃の向き	<input type="radio"/> 下向き	<input checked="" type="radio"/> 上向き

刃の向き・・・下向き(背側を表示します)



刃の向き・・・上向き(リップ側を表示します)



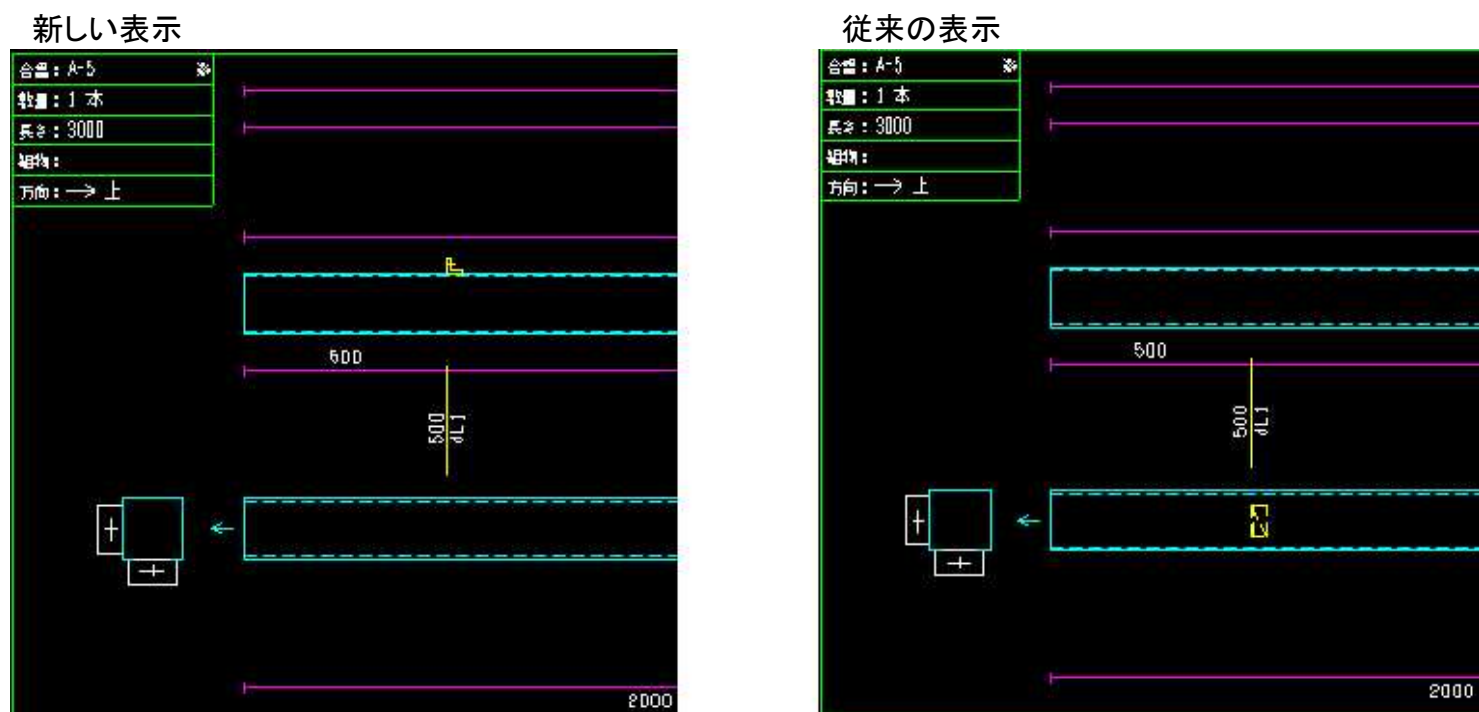
※ピースの自動配置

胴縁ピースは縦使いの胴縁側が溶接になるように配置します。

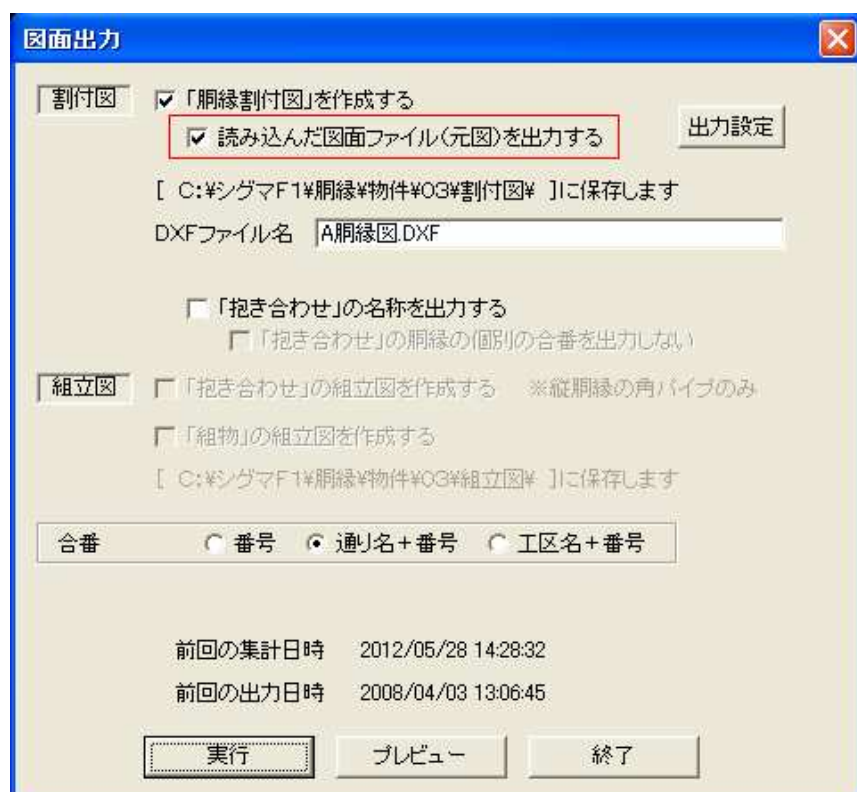
※現在、一部対応していない機能があります。

- ・「胴縁編集」-「抱き合わせ」で選択できません。
- ・「胴縁編集」-「一括修正」で選択できません。
- ・加工図にはピース加工を表示しません。
- ・NCデータ出力はピース加工を出力しません。

4. 胴縁加工図(B4縦4列を除く)を修正しました。
 コーナーの角パイプの溶接ピースをウェブ側に断面で作図するようにしました。



5. 割付図の出力画面で元図の有無を変更できるようにしました。
 チェックボタンを追加しました。



6. 集計表を工区毎に改ページできるようにしました。
 チェックボタンを追加しました。

